

「こおりやまの米」通信

編集：郡山市

JA福島さくら郡山統括センター (024-921-0503)

NOSAI福島 中央支所 (024-933-3307)

県中農林事務所農業振興普及部 (024-935-1310)

発行：郡山市農作物生産対策協議会

(郡山市農業生産流通課

024-924-3761)



GOOD RICE DAY
毎月8日は
こおりやま「お米の日」



Vol. 3 田植後～本田管理

* 過去の記事は郡山市ホームページから見る事が出来ます。



豊かな自然と気候に恵まれた、
県内一の米どころである郡山の
美味しいお米をたべましょう！

こおりやまの米通信

検索

1 本田初期の水管理 ～還元障害軽減のために～

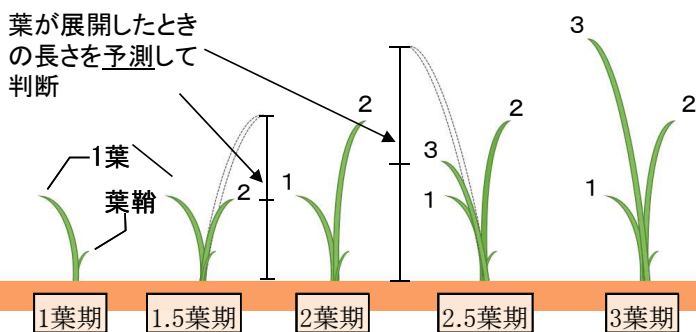
活着後は水深3cm程度の浅水管理とし、分けつを促進
しましょう。

異常還元(ガス湧き)になったら、数日間落水し、土壌中
に酸素を供給してください。なお、生育促進のための窒素
追肥は倒伏につながるので厳禁です。

2 雑草防除 ～除草剤散布はノビエの葉齢を確認して～

除草剤は、散布してから処理層を形成し、効果を発揮す
るまで4～5日程度かかります。ほ場のノビエの葉齢が、除
草剤の効く最大葉齢より0.5葉(2～3日)くらい前の時期に
散布するとより効果的です。散布時は湛水状態を保てるよ
う十分に深水とし、7日間止水してください。

〔ヒエ葉齢の数え方〕



雑草の出葉は気温の影響を受け、高温が続く場合には、
ヒエは3日程度で1枚出葉します。移植前後が高温の場合
は、除草剤の散布が遅れないように注意してください。

熱中症にご注意！！

曇りや雨の日でも熱中症になる可
能性があります。意識的にこまめな
休憩と水分補給を心掛けてください。

熱中症警戒アラート⇒



【中・後期剤の使用例】

一発除草剤の散布後に雑草が残った場合は、雑草の種
類によって除草剤を選択し、適期に追加防除しましょう。

ノビエだけが残った場合

⇒クリンチャーEW

移植後20日～ノビエ6葉期(但し、収穫30日前まで)

:100ml/10a希釈水量25～100L/10a

⇒ヒエクリーン1キロ粒剤

移植後15日～ノビエ4葉期(但し、収穫45日前まで)

:1kg/10a湛水散布

ノビエ以外の雑草も残った場合

⇒アトリ1キロ粒剤

移植後14日(稲5葉期以降)～ノビエ4葉期(但し、収穫

45日前まで):1kg/10a湛水散布

⇒レブラスギア1キロ粒剤

移植後14日～ノビエ4葉期(但し、収穫60日前まで)

:1kg/10a湛水散布

広葉雑草だけが残った場合

⇒バيسコープ1キロ粒剤 移植後14～60日(但し、収穫

45日前まで):1kg/10a湛水散布、ごく浅く湛水して散布

⇒バサグラン粒剤(ナトリウム塩) 移植後15日～収穫45

日前まで:3～4kg/10a落水散布、ごく浅く湛水して散布

【藻類・表層はく離対策】

多発すると初期生育の抑制や除草剤の拡散阻害、直播
栽培では苗立不良の原因ともなります。

対策1:除草剤

農薬登録で適用のある除草剤(先陣1キロ粒剤、バッチリ
LX1キロ粒剤等)を使用し発生を抑制する。

発生した場合には、モゲトン粒剤(藻類には2～3kg/
10a、表層はく離には1～2kg/10a)を湛水散布する。

対策2:水の入・排水

藻類→ほ場の水を入れ替える。

表層はく離→排水し、2～3日後に入水する。

3 中干し

～有効茎が確保されたら、遅れずに実施しましょう～

中干しは、無効茎の抑制により茎を太くする効果や、還元状態となっている土壤に酸素を供給し根の活力を高め、登熟を向上させる効果があります。また、水田から発生する温室効果ガス(メタン)の発生を抑制します。

近年、開始が遅れているほ場が多く見られるので注意してください。特に出穂の早いふくひびき、つきあかり等は、中干し終了の時期も早くなるので、中干し期間を確保するために開始が遅れないようにしてください。

【中干し開始の目安】

中干し開始は、有効茎を確保した時となりますが、葉鞘に隠れて確認できない茎を考慮し、有効茎数の8割程度を確認できたら速やかに開始してください。

有効茎数は品種や栽培方法により異なりますが、㎡当たり、コシヒカリ430本、天のつぶ460本、里山のつぶ480本、ひとめぼれ510本、ふくひびき380本前後です。

茎数の目安は栽植密度により変動するので、下表を参考にしてください。茎数を確認する場合は、生育が旺盛な畦畔際を避け、数m入った場所で生育が平均的な株を数えてください。

表 中干し開始時の茎数の目安*

株数(株/坪)	株間(cm)	有効茎数(本/㎡)				
		350	400	430	450	500
43	25.6	21	25	26	28	31
50	22.0	18	21	23	24	26
60	18.3	15	18	19	20	22
70	15.7	13	15	16	17	19

*有効茎数の8割となる株当たり茎数 (本/株)

コシヒカリの目安

【中干し終了の目安】

田面に幅5mm程度の亀裂ができれば終了です。地力の低い水田では軽く亀裂ができた時点で終了です。

減収とならないように幼穂形成期までには終了しましょう(ふくひびき、つきあかり等の出穂の早い品種では7月上旬から幼穂形成期となるので注意してください)。

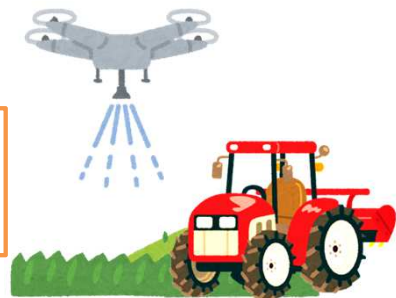
【中干し後の水管理】

中干し後すぐに湛水状態とすると、土中が酸素不足となり根腐れの原因となります。中干し直後は土を湿らす程度の走り水とし、3～5日かけて徐々に間断かんがいへ移行しましょう。ただし、穂ばらみ期～出穂期は、開花や受粉に備えて水分が必要(花水)なので、湛水管理に切り替えてください。

県RTK基地局と関連補助事業について

福島県では、令和6年度にRTK固定基地局(インターネットNtip方式)を県内11カ所に整備しました。

RTK(リアルタイム・キネマティック)は、設置した基地局からの補正情報を受信して測位を向上させるシステムのことです。一般にGPSからの位置情報のみでは±10m程度の誤差が生じますが、その誤差を±2～3cmまで抑えることができます。



活用例

- ◎農業用ドローン
- ◎自動操舵システム
- ◎GPSレベラー など

【関連する補助事業】

1. GPS活用によるスマート農業加速化推進事業

県が設置するRTKシステムに対応したスマート農業関連の機械設備等導入に要する経費を補助

2. 多様な農業支援サービス事業体の活動支援事業

広域でスマート農業機器等を活用した受託作業等を行う農業支援サービス事業体の活動を支援

※ 事業の詳細や、県のRTK基地局の利用申込み等については、福島県県中農林事務所農業振興普及部農業振興課 (電話:935-1308)までお問合せ願います。



3/1～5/31 春の農作業安全運動展開中!

春の繁忙期にはトラクターによる農作業事故が多く発生しています。余裕を持った作業計画を立てて、焦らず安全・安心な農作業を実践しましょう!

次回発行:7月上旬頃(予定)